

施設評価結果（保育園、幼稚園、学校関係）

	施設の名称	管理運営方法 2 1 直一部委託	園児数 (単位：人)							投入一般財源 (H23)	園児・児童・生徒 1人当たり 投入一般財源 (H23)	効率性 評価	判定	判定理由
			H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度 見込み	H26 年度 見込み	H27 年度 見込み					
17	西鶴山保育園	1	48	48	50	51	49	48	45	44,330千円	886,600円	C	1	西鶴山地区には幼稚園がないため、現西鶴山保育園をそのまま利用し、これに幼稚園機能を加えた保育所型認定こども園として、保育に欠ける子は長時間保育、保育に欠けない子は短時間保育による就学前教育が受けられるよう運営形態を変更することが望ましい。
18	香登保育園	1	23	18	25	31	23	24	25	34,038千円	1,361,520円	C	1	香登保育園と大内保育園を統合し、香登幼稚園を分園とし、幼保一体型施設として運営することが望ましい。
19	大内保育園	1	13	8	14	20	14	16	14	29,184千円	2,084,571円	C	1	
20	伊部保育園	1	48	47	39	53	32	32	31	54,722千円	1,403,128円	C	1	伊部保育園と殿土井保育園を統合し、幼保一体型施設として運営することが望ましい。
21	殿土井保育園	1	73	65	72	80	66	62	61	58,287千円	809,542円	C	1	
22	片上保育園	1	47	56	61	53	59	54	55	55,817千円	915,033円	C	1	平成25年4月、片上保育園と片上幼稚園を統合し、幼保一体型施設として運営することが決定している。
23	伊里保育園 (伊里認定こども園)	1	62	65	74	63	57	50	49	60,269千円	814,446円	C	5	幼保一体型施設として、保育に欠ける場合は長時間保育、保育に欠けない場合は短時間保育による就学前教育が受けられるようにしている。
24	三石保育園	1	34	29	33	29	26	28	26	40,586千円	1,229,879円	C	1	三石保育園と三石幼稚園を統合し、幼保一体型施設として運営することが望ましい。
25	日生保育園	1	40	45	57	46	49	44	35	61,549千円	1,079,807円	C	1	日生保育園と日生幼稚園を統合し、幼保一体型施設として運営することが望ましい。
26	吉永保育園	1	29	31	25	20	24	23	22	38,725千円	1,549,000円	C	1	吉永保育園、吉永幼稚園、神根幼稚園の3園を統合し、幼保一体型施設の建設を予定していたが、現在、整備計画は白紙状態となっている。
27	頭島保育園	1	6	8	7	4	1	1	1	10,513千円	1,501,857円	C	5	諸島地区にある唯一の保育園であるため、必要性が高い。架橋事業が完了するまで現状維持とする。
	保育園計		423	420	457	450	400	382	364	平均	1,067,877円			
83	西鶴山 共同調理場	1	629	606	551	503	495	480	471	29,371千円	53,305円	C	5	学校再編整備基本計画外の学校を担当する共同調理場であり、特段の管理運営変更を検討する環境にない。統廃合には、現在主流となっている米飯炊飯設備がないことと、本調理場がガス調理施設であり、他の電気調理施設とのバランスに配慮する必要がある。
84	伊里 共同調理場	1	721	1139	1113	1064	1014	990	960	64,833千円	58,251円	C	5	共同調理場の調理能力を生かすため配食する学校の再編統合を終え、組織や機構改善ではなく、給食提供内容の改善・充実が求められる。
85	日生 共同調理場	1	716	682	669	653	647	619	599	46,592千円	69,644円	C	5	施設の効率的運営のため、正規職員の退職不補充・臨時職員への切替を行ってきた。今後、園児・児童・生徒数の減少が見込まれるなか、安全でおいしい給食の提供、食育の推進なども考慮のうえ、施設の効率的管理運営を検討していく必要がある。

施設評価結果（保育園、幼稚園、学校関係）

	施設の名称	管理運営方法 2 1 直一部委託	園児数 (単位:人)							投入一般財源 (H23)	園児・児童・生徒 1人当たり 投入一般財源 (H23)	効率性 評価	判定	判定理由
			H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度 見込み	H26 年度 見込み	H27 年度 見込み					
86	吉永 共同調理場	1	562	541	529	515	490	459	436	24,230千円	45,803円	C	5	施設の効率的運営のため、正規職員の退職不補充・臨時職員への切替を行ってきた。今後、園児・児童・生徒数の減少が見込まれるなか、安全でおいしい給食の提供、食育の推進なども考慮のうえ、施設の管理運営を検討していく必要がある。
87	片上小学校 調理場	1	201	178	168	157	149	152	139	13,242千円	78,821円	D	1	児童・生徒が減少しており、単独調理場の廃止を含め、調理場の調理能力を生かすため配食する学校園を検討再編することが望ましい。単独校調理配食を継続する要望が強いことは考慮するとともに、米飯炊飯施設があることを念頭に置く必要がある。
	調理場計		2829	3146	3030	2892	2795	2700	2605	平均	58,834円			
88	香登幼稚園	1	28	21	22	27	21	19	23	22,369千円	1,016,773円			【総合コメント】少子化が進み、将来的に園児数は減少傾向にあり、就学前教育に対する保護者のニーズも多様化している。施設管理費など経常経費の節減に努めているが、施設は年々老朽化しており、今後も日常点検を細かく行うなど、維持管理費の動向を注視していく。なお、こども園建設計画については未定である。
89	伊部幼稚園	1	50	34	26	36	40	33	38	34,103千円	1,311,654円			【総合コメント】少子化が進み、将来的にも園児数は現状が続くが、就学前教育に対する保護者のニーズの多様化もある。施設管理費など経常経費の節減に努めているが、施設は年々老朽化しており、今後も日常点検を細かく行うなど、維持管理費の動向を注視していく必要がある。なお、こども園建設計画については未定である。
90	片上幼稚園	1	25	21	26	31	38	37	43	20,754千円	798,231円			【総合コメント】少子化が進み、将来的に園児数は減少傾向にあり、就学前教育に対する保護者のニーズも多様化している。幼保一体型施設であるこども園建設事業に着手しており、今後大きな環境変化と経費変化が見込まれるので、現行施設の改良を伴う維持管理費については必要最小限に留めたものとなる。
91	伊里幼稚園 (伊里認定 こども園)	1	54	58	61	72	52	42	34	34,870千円	571,639円			【総合コメント】平成22年度から幼保一体施設で幼児教育を行っており、就学前教育に対する保護者のニーズも多様化に対応していく。入園園児数は微増傾向を示しているが、少子化が進み、将来的に園児数は減少傾向にあることは変わらない。旧園舎の整理を終え、市初の幼保一体型施設の動向は後に続く施設の指針となる。
92	東鶴山幼稚園	1	14	19	12	11	10	7	7	20,446千円	1,703,833円			【総合コメント】少子化が進み、将来的に園児数は減少傾向にあり、就学前教育に対する保護者のニーズも多様化している。入園園児数も年度によってばらつきがあり推計しがたい。一方、施設管理費など経常経費の節減に努めている。今後も日常点検を細かく行うなど、維持管理費の節減に努めていく。
93	三石幼稚園	1	17	10	13	10	9	10	10	19,367千円	1,489,769円			【総合コメント】少子化が進み、将来的に園児数は減少傾向にあるが、就学前教育に対する保護者のニーズも多様化している。入園園児数は年度によってばらつきがあるものの減少傾向を示しているため、施設管理費など経常経費の節減に努めていくことが必要である。

施設評価結果（保育園、幼稚園、学校関係）

施設の名称	管理運営方法 2 1 直一部委託	園児数 (単位：人)							投入一般財源 (H23)	園児・児童・生徒 1人当たり 投入一般財源 (H23)	効率的性 評価	判定	判定理由
		H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度 見込み	H26 年度 見込み	H27 年度 見込み					
94 日生幼稚園	1	119	102	83	86	89	83	76	41,212千円	496,530円			【総合コメント】少子化が進み、将来的に園児数は減少傾向にあるが、就学前教育に対する保護者のニーズは多様化している。入園園児数も年度によってばらつきがあるとともに、100人を下回る規模で続くものと推計している。施設管理費など経常経費の節減に努めているが、年々老朽化しており、市内では園児数が多い施設であり、突発的に大きな修繕費を要することも出てくるので、今後も日常点検を細かく行うなど、維持管理に努めていく。
95 吉永幼稚園	1	103	89	88	93	86	83	75	38,118千円	433,159円			【総合コメント】少子化が進み、将来的に園児数は減少傾向にあるが、就学前教育に対する保護者のニーズは多様化している。入園園児数も年度によってばらつきがあり推計しがたい。施設管理費など経常経費の節減に努めているものの、施設は年々老朽化しており、今後も日常点検を細かく行うなど、維持管理費の節減に努めていくとともに、こども園等の新園舎建設計画、又は現施設耐震化事業をどう行っていくか早急に方針決定する必要性が高まっている。
96 神根幼稚園	1	12	12	9	8	10	15	18	16,237千円	1,804,111円			【総合コメント】少子化が進み、将来的に園児数は減少傾向にあるが、就学前教育に対する保護者のニーズは多様化している。入園園児数も10人前後から減少に転ずると推測される。施設管理費など経常経費の節減に努めているが、施設は年々老朽化しており、維持管理費の節減には限界がある。
幼稚園計		422	366	340	374	355	329	324	平均	727,871円			
97 西鶴山小学校	1	90	89	78	76	80	77	75	13,842千円	177,462円			【総合コメント】児童数は減少傾向にある。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、節減努力により一定の効果は挙がってきている。今後も光熱水費使用量の管理など、経費削減の努力を継続していく必要がある。
98 香登小学校	1	153	147	137	128	131	130	118	13,447千円	98,153円			【総合コメント】児童数は減少傾向にある。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、節減努力により一定の効果は挙がってきている。今後も光熱水費使用量の管理など、経費削減の努力を継続していく必要がある。
99 伊部小学校	1	386	370	336	299	284	273	278	17,535千円	52,188円			【総合コメント】市内最大数の学校規模であるが、児童数は減少傾向にある。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、節減努力により一定の効果は挙がってきている。今後も光熱水費使用量の管理など、経費削減の努力を継続していく必要がある。学校耐震化事業はもとより、学校再編で統合先とされれば、受入れ準備として必要な施設整備を考慮していかなければならない。
100 片上小学校	1	201	178	168	157	149	152	139	13,638千円	81,179円			【総合コメント】ここ3箇年で児童数は大幅な減少となっている。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、一定の効果は挙がってきている。正規職員の退職不補充・臨時職員への切替を行ってきたが、今後も光熱水費使用量の管理など、経費削減の努力を継続していく必要がある。
101 伊里小学校	1	304	289	261	266	247	249	243	13,472千円	51,617円			【総合コメント】ここ3箇年で児童数は大幅な減少となった。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、一定の効果は挙がってきている。正規職員の退職不補充・臨時職員への切替を行ってきたが、今後も光熱水費使用量の管理など、経費削減の努力を継続していく必要がある。

施設評価結果（保育園、幼稚園、学校関係）

施設の名称	管理運営方法 2 1 直一部委託	園児数 (単位:人)							投入一般財源 (H23)	園児・児童・生徒 1人当たり 投入一般財源 (H23)	効率的性 評価	判定	判定理由
		H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度 見込み	H26 年度 見込み	H27 年度 見込み				【判定基準】 1 統廃合を検討する 2 指定管理者制度の導入が可能 3 全面委託が可能 4 事務等一部委託が可能 5 現在の管理運営体制が望ましい	
102 東鶴山小学校	1	47	42	51	52	47	50	49	10,387千円	203,667円			【総合コメント】児童数は、横ばいか、やや増加傾向となっている。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、一定の効果は挙がってきている。今後も光熱水費使用量の管理など、経費削減の努力を継続していく必要がある。学校再編については、教育的配慮とともに地域の実情を考慮しながら総合的な見地で検討を行い、地元理解を得られるよう努力を行う。
103 三石小学校	1	117	108	103	87	84	80	73	9,696千円	94,136円			【総合コメント】児童数は相当な減少傾向にあり、今後、児童一人当たりの経費も増大してくることが予想される。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、一定の効果は挙がってきている。今後も光熱水費使用量の管理など、経費削減の努力を継続していく必要がある。
104 日生西小学校	1	207	210	208	190	163	154	137	13,784千円	66,269円			【総合コメント】児童数は減少傾向にある。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、一定の効果は挙がってきている。正規職員の退職不補充・臨時職員の切替を実施したが、今後も光熱水費使用量の管理など、経費削減の努力を継続していく必要がある。また、学校再編で統合先とされれば、受入れ準備として必要な施設整備を考慮していかなければならない。
105 日生南小学校	1	8	5	6	10	11	12	10	6,844千円	1,140,667円			【総合コメント】10人を下回る児童数は、横ばいか、やや増加傾向となっている。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、一定の効果は挙がってきているものの児童一人当たりの経費を見ても削減余地は少ない。今後も光熱水費使用量の管理など、経費削減の努力を継続していく必要がある。学校再編については、教育的配慮とともに地域の実情を考慮しながら総合的な見地で検討を行い、地元理解を得られるよう努力を行う。
106 日生東小学校	1	186	186	194	189	181	170	155	14,747千円	76,015円			【総合コメント】児童数は過去3箇年では横ばい、やや増加しているが、今後、減少傾向となるものと推測される。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、一定の効果は挙がってきている。今後も光熱水費使用量の管理、正規職員の退職不補充・臨時職員の切替など、経費削減の努力を継続していく必要がある。平成22年度の耐震化事業で施設面での充実が図られたので、維持補修費用は半減しているが、日常的な点検は不可欠である。また、学校再編で統合先の可能性も考慮しておく必要がある。
107 吉永小学校	1	249	255	232	227	209	201	194	15,356千円	66,190円			【総合コメント】児童数は減少傾向にある。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、一定の効果は挙がってきている。今後も光熱水費使用量の管理など、経費削減の努力を継続していく必要がある。また、学校再編で統合先とされれば、受入れ準備として必要な施設整備を考慮していかなければならない。
108 神根小学校	1	33	23	16	16	14	12	15	7,849千円	490,563円			【総合コメント】児童数は大幅な減少傾向となっている。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、一定の効果は挙がってきている。今後も光熱水費使用量の管理など、経費削減の努力を継続していく必要がある。学校再編については、教育的配慮とともに地域の実情を考慮しながら総合的な見地で検討を行い、地元理解を得られるよう努力を行う。
109 三国小学校	1	11	9	6	8	5	4	5	6,823千円	1,137,167円			【総合コメント】10人を下回るようになり児童数は減少傾向となっている。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、一定の効果は挙がってきているものの児童一人当たりの経費を見ても削減余地は少ない。今後も光熱水費使用量の管理など、経費削減の努力を継続していく必要がある。学校再編については、教育的配慮とともに地域の実情を考慮しながら総合的な見地で検討を行い、地元理解を得られるよう努力を行う。

施設評価結果（保育園、幼稚園、学校関係）

施設の種類	施設の名称	管理運営方法 2 1 直一部委託	園児数 (単位：人)							投入一般財源 (H23)	園児・児童・生徒 1人当たり 投入一般財源 (H23)	効率性 評価	判定	判定理由
			H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度 見込み	H26 年度 見込み	H27 年度 見込み					
	小学校計		1992	1911	1796	1705	1605	1564	1491	平均	87,650円			
110	備前中学校	1	482	461	471	448	435	415	403	22,980千円	48,790円			生徒数は、年度間にはばらつきがあるが減少傾向にある。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、節減努力により一定の効果は挙がってきている。今後も光熱水費使用量の管理など、経費削減の努力を継続していく必要がある。
111	伊里中学校	1	181	166	159	143	143	139	140	18,725千円	117,767円			生徒数は減少傾向にある。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、節減努力により一定の効果は挙がってきている。今後も光熱水費使用量の管理、不具合箇所の早期発見など、経費削減の努力を継続していく必要がある。なお、平成23年度に屋内体育館耐震化事業を実施した。
112	三石中学校	1	72	73	68	68	58	57	52	11,255千円	165,515円			生徒数は減少傾向にある。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、節減努力により年度間のばらつきもあるが、一定の効果は挙がってきている。正規職員の退職不補充・臨時職員の切替を行ったところであるが、今後も光熱水費使用量の管理など、経費削減の努力を継続していく必要がある。なお、耐震度が著しく低い屋内体育館、特別教室棟の耐震化工事が終了した。
113	日生中学校	1	196	179	178	178	203	200	221	16,847千円	94,646円			生徒数は、今後もほぼ現状維持の傾向から増加傾向に転ずると推測される。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、節減努力により年度間のばらつきもあるが、一定の効果は挙がってきている。今後も光熱水費使用量の管理など、経費削減の努力を継続していく必要がある。なお、大規模な校舎耐震化事業に着手したところである。
114	吉永中学校	1	154	153	178	163	166	144	129	20,451千円	114,893円			生徒数は、一時増加するものの、ほぼ現状維持の傾向にある。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、節減努力により一定の効果は挙がってきている。今後も光熱水費使用量の管理など、経費削減の努力を継続していく必要がある。
	中学校計		1085	1032	1054	1000	1005	955	945	平均	85,634円			
82	片上高等学校	1	99	102	100	91	100	100	100	9,185千円	91,850円			【総合コメント】県立高校の建物・敷地を借用しており、施設に係る維持管理費が軽微である。施設管理運営上は、今後もこの形態による管理が望ましい。
	高等学校計		99	102	100	91	100	100	100	平均	91,850円			